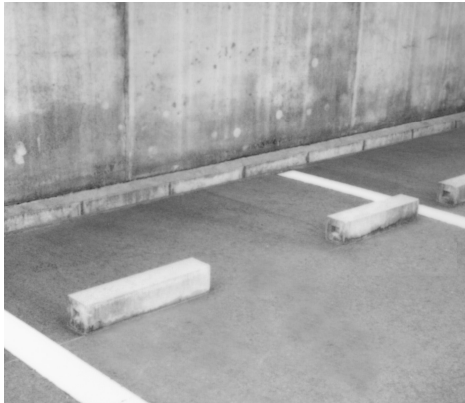


コンクリート・金属用エポキシ樹脂系接着剤



ボンド E250

「ボンド E250」はコンクリート、金属、石材、木材など種々の被着体接着用のエポキシ樹脂系接着剤です。

常温硬化型の「ボンド E250」は作業性、接着強さに優れるため、土木建築分野をはじめ、多方面の接着工法に応用されています。

JAIA-003901 F☆☆☆☆
JAIA-401290 4VOC基準適合

■用途

コンクリート、モルタル、金属、石材、レンガ、木材、陶磁器などの接着。

ただし、ポリエチレン、ポリプロピレン、フッ素樹脂、シリコン樹脂などは接着できません。

■特長

強力接着：鋼同士でも優れた接着効果を示します。

湿潤面接着：湿潤面に対しても接着が可能です。

耐久性：耐水性、耐薬品性、耐油性に優れています。

充てん接着：硬化後の肉やせがほとんどありません。

■性状

項目	主 剤	硬 化 剤
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン
外 観	乳白色ペースト状	灰色ペースト状
粘度(混合物)	約150Pa・s (23℃)	
混 合 比	主剤：硬化剤=1：1(質量比)	
可使時間	約50分 (20℃、1kg)	
指触硬化時間	約4時間 (20℃)	

※数値は規格値ではありません。

■技術データ

1. 硬化樹脂の性能規格 (社内規格値)

試験項目	社内規格値	試験方法
比 重	1.40±0.10	JIS K 7112
圧縮降伏強さ (N/mm ²)	50.0以上	JIS K 7208
圧縮弾性率 (N/mm ²)	1.50×10 ³ 以上	JIS K 7208
曲 げ 強 さ (N/mm ²)	45.0以上	JIS K 7203
引 張 強 さ (N/mm ²)	20.0以上	JIS K 7113

※養生：20±1℃、7日間

■使用方法

前 処 理

- 接着面からゴミ、ホコリ、油、サビ、離型剤、塗装物、レイタンスなどを取り除いて清浄にしてください。アクリル、硬質塩化ビニル、ABSには、必ず「ボンド プライマー80」を薄く塗布し、乾燥後「ボンド E250」で接着してください。金属表面やポリエステル、メラミン、フェノール樹脂の表面は、粗さ#120程度のサンドペーパーやサンドブラストで処理してください。

混 合

- 主剤と硬化剤を1：1(質量比)の混合比で計量し、十分に混合攪拌してください。一度に混合する量は、可使時間内に使い切れる量にしてください。

接 着 作 業

- ヘラ・クシ目ゴテなどで均一にのばして塗布します。塗布量は金属のような平滑面で約500g/m²、コンクリートのような粗面で約800g/m²が標準です。粗面または充てん接着用には両面に塗布すると効果的です。

養 生

- 可使時間内に塗布し、できるだけ早くはり合せます。接着物が動かないよう最低5～6時間(20℃)固定し硬化させます。

※硬化した「ボンド E250」は有機溶剤に溶けません。材料の表面や使用した容器や道具類は、「ボンド E250」が硬化する前に有機溶剤で洗ってください。

2. 各種材質との接着強さ (測定値例)

試験項目	はり合わせ材質	表面処理	形状(mm) (厚さ×幅×長さ)	測定値例
引張せん断 接着強さ (N/mm ²)	鋼—鋼 (S55C)	サンドブラスト#120 MEK脱脂	1.6×25×100	19.6 (C=100)
	鋼—硬質塩ビ	鋼:サンドブラスト#120 硬質塩ビ:プライマー 80	1.6×25×100 2.0×25×100	9.6 (M=100)
	ポリエステル—ポリエステル(FRP)	サンドペーパー#120	2.0×25×100	10.8 (M=100)

※養生: 20±1℃、7日間
 試験方法: JIS K 6850に準拠
 破壊状態: M=母材の材料破壊%
 C=接着剤層の凝集破壊%
 硬質塩ビ表面はプライマー 80により処理

3. 木材同志 (カバーカバ) の各種接着強さ (測定値例)

試験項目	常 態			耐水	耐熱	煮沸	加熱促進
	1日	3日	7日	気中硬化7日	80℃	JAS-1類	80℃ 1時間
圧縮せん断 接着強さ (N/mm ²)	18.8 (M=100)	19.8 (M=100)	21.0 (M=100)	6.40 (C=100)	12.3 (C=100)	3.90 (C=100)	19.8 (C=100)

※試験方法: JIS K 6852に準拠
 条件: 耐水……常温で7日間養生後 20℃の水中で7日間浸漬
 耐熱……常温で7日間養生後 80℃の雰囲気中で測定
 煮沸……常温で7日間養生後 4時間煮沸→60℃、20時間乾燥→4時間煮沸→20℃、水中冷却
 加熱促進……常温で7日間養生後 80℃で1時間加熱放冷
 破壊状態: M=母材の材料破壊% C=接着剤層の凝集破壊%

4. 可使時間および指触硬化時間 (測定値例)

温 度	10℃	20℃	30℃
可 使 時 間	1時間40分	50分	25分
指触硬化時間	7時間	4時間	1時間30分

※可使時間: 主剤・硬化剤を各500gを混合、温度上昇法にて測定
 指触硬化時間: ガードナー式乾燥時間測定器にて測定。ただし膜厚は500μmとする。

梱包容量

- E250: 100gセット (主剤: 50g, 硬化剤: 50g) ……60セット入り/1ケース
- 800gセット (主剤: 400g, 硬化剤: 400g) ……10セット入り/1ケース
- 2kgセット (主剤: 1kg, 硬化剤: 1kg) ……6セット入り/1ケース
- 6kgセット (主剤: 3kg, 硬化剤: 3kg) ……2セット入り/1ケース

警 告

健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。

注意事項

本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

- ①本来の用途以外には使用しない。
- ②作業場所は十分に換気する。
- ③皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあるので、眼に入ったり皮フにふれないように注意し、必要に応じて保護具を着用する。
- ④取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。
- ⑤異常を感じた時は、必要に応じて医師の診察を受ける。
- ⑥子どもの手の届かない所に保管する。
- ⑦直射日光を避け、温度が2~40℃の場所で保管する。
- ⑧残った時は完全密封して、涼しい場所に保管する。
- ⑨開封後はすみやかに使いきる。
- ⑩廃棄は法令に従うこと。

※より詳細な情報はSDSをお読みください。

※本品は使用方法・使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願いいたします。(記載の性状等は2017年7月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。)

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa·s、1kgf·cm=9.8×10⁻²J、1MPa=1N/mm²です。1N/mm²は約10.2kgf/cm²に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社

<http://www.bond.co.jp/>

大阪本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 (北浜TNKビル) TEL06(6228)2961
 東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) TEL03(5259)5737

名古屋支店 TEL052(217)8624	仙台営業所 TEL022(342)1393	静岡営業所 TEL054(654)2552	広島営業所 TEL082(507)1911
福岡支店 TEL092(551)1764	前橋営業所 TEL027(289)8313	金沢営業所 TEL076(223)1565	沖縄営業所 TEL098(884)7521
横浜支店 TEL045(514)2450	栃木営業所 TEL0285(43)1511	姫路営業所 TEL079(235)1021	
札幌支店 TEL011(731)0351	千葉営業所 TEL043(305)5970	高松営業所 TEL087(835)2020	